

協働事業に関する企画書

平成 26 年 8 月 27 日

団体名 特定非営利活動法人さやま協働ネット

1. 事業名	市民活動支援講座「情報発信力を磨くー想いを伝え・共感の輪を広げるためにー」
2. 事業の詳細	<ニーズの把握> ・市内で活動する市民活動団体などとの懇談会を通じて、団体が抱える情報発信上の課題を中心に、どのような支援を期待しているかを把握する。また、さやま市民大学事業の地域連携推進室との連携を図りより効果的な情報収集を進める。 <講座（3回）の開催> ・下記の内容を、3回の講座として開催（定員：25名） ①情報発信の基礎を学ぶ（情報発信のねらい・方法・効果を学ぶ）。 ②効果的なチラシの作成方法を学ぶ（市民団体にとって身近な情報発信方法であるチラシに焦点。既存のチラシを題材にしつつ、チラシ作成に関わる実践的なノウハウを学ぶ。）。 ③チラシの作成に挑戦（特定の課題に基づき、チラシ作成を試行）。 ④効果的な情報周知の方法（実践事例を活用）
3. 実施体制	・講座を企画・運営する実行委員会を設け、行政とも協議をしながら講座を実施する。 ・ニーズの把握にあたっては、主な市民団体の協力を仰ぐ。 ・講座の開催にあたっては、アドバイザーとして上田デザイン事務所代表・武蔵野美術大学非常勤講師の上田和秀氏の協力を仰ぐ。また、実践事例の報告にあたっては市民団体の協力を仰ぐ。
4. 役割分担	【提案団体の役割】 ・本法人の人的及び情報のストックを活用しながら、ニーズの把握及び講座の企画・運営に取り組む。また、関係団体を通じて口コミにより講座の開催をPRする。 【市の役割】 ・講座の企画・運営に関するアドバイス。 ・講座の開催場所の提供、講座開催のPR、その他市民団体の実態に関する資料の提供等への協力。
5. 協働の効果	・市民団体自ら企画運営することで、市民ネットワークを活かし、より市民目線、実際の課題に即した内容で実施することができる。 ・市との協力体制により、広報「さやま」で知名度を広く市民に知らせる機会を得ることができる。
6. 事業のアピール	・市民団体にとって身近な課題である「情報発信」について、基本的かつ実践的なノウハウを学ぶことで今後の活動に弾みをつけることができる。